



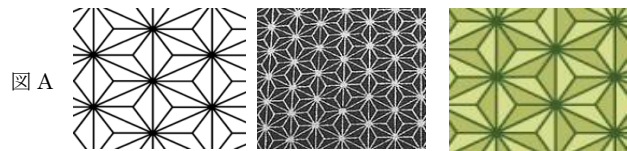
○回転

YIC 保育&ビジネス専門学校の KOCHO だより 137 号では「独楽」と題したつぶやきを掲載しました。コマを回すことから始まっているいろいろな回転運動のことを考え出してしまいました。今回はその続きです。137 号はよろしければ光校の HP を検索してお読みください。

本校 1 年生の授業「ドローイング・デッサン」「平面構成」も終了に近づいています。学習まとめの完成作品はまた後日紹介する予定です。

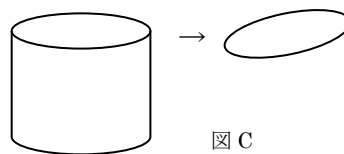
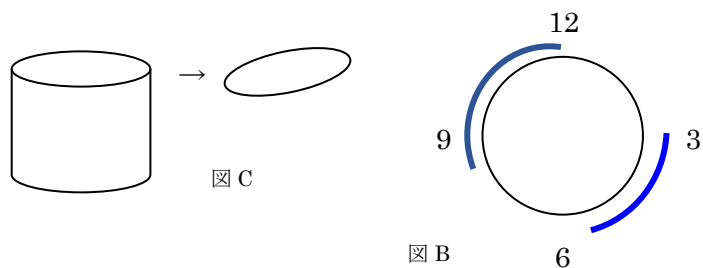
さて、“回転”に関係することです。平面構成の授業では基本的な作画から始めました。点、線（直線、曲線）、面、三角形～五角形、黄金比、白銀比などを定規やコンパスを駆使して作りました。その中でも「円」は強い形であると私はよく思います。そもそも私たちが暮らす地球は円（球体）です。液体も無重力状態では球体になります。石鹸を泡立ると無数の球ができます。その泡が引っ付いていくと六角形が表れてきます。ハチの巣も一つひとつの穴は六角形ですね。円・球と同じように六角形も自然界の中では強い形です。

私たちの身の回りには先人たちがデザインした様々な文様が存在します。六角形の集合から生まれたであろう「麻の葉模様」(図 A 参照) も美しいデザインですね。こういったものは時代を超えて愛されていきます。この模様の成り立ちの意味はここでは省略します。



回転から少しずれていきましたが、基本は円です。ドローイング・デッサン、そしてイラスト・マンガにも関係してくると思いますが、回転→円運動のことについてふれてみます。

個人的な感覚の部分でもありますが、私は人物の顔を描くとき、左向きの方が描きやすいです。円を時計の文字板に当てはめると 0 時から 8 時くらいの円弧は描きやすく、3 時から 6 時くらいの円弧は難しいですね。(図 B) フリーハンドで描く円ですが、手は肩・肘・手首を軸として回します。私は右利きですので、このような状況が生まれるのでしょうか。また、水平な楕円を描くときは左下がりになりやすい(図 C) ことを学生たちには伝えました。こういうことを踏まえたうえで、プロのマンガ家になろうとする人たちは右左関係なくきれいな曲線が描けるようにならなければなりませんね。あとは練習あるのみというところでしょう。



○自校自賛



本校にはビジネスマナー週間というものがあります。日頃の学生たちの服装は自由ですが、近い将来の就職、および社会生活で必要になってくるであろうスーツ姿で学習する週です。平面構成やデッサンの制作では絵具や鉛筆で汚れるかもしれませんが、ちょっときゅうくつな面もありますが、これを逆手に取って、いかに汚さないかという工夫をする練習にもなります。エプロンや腕抜きを使うことや絵具が飛び散らない洗い方などが学べます。

